

## 平成27年2月期 第2四半期決算参考資料

### 1. 当第2四半期連結累計期間の業績に影響を与えた主な項目

- 1) 食肉相場の堅調な推移
- 2) 主力加工品・ブランドミートの販売伸長
- 3) 販売価格の改定（昨秋実施）
- 4) 生産性の改善、物流の効率化、リスク管理の徹底等
- 5) 原材料価格の高騰、円安の進行
- 6) 消費税増税に伴う駆け込み需要の反動減

### 2. 当第2四半期連結累計期間（平成26年3月1日～平成26年8月31日）の連結業績

（金額単位：百万円）

	平成27年2月期第2Q	平成26年2月期第2Q	伸び率(%)	公表予想	H26/2月期通期
売上高	74,711	69,162	8.0	74,000	144,154
営業利益	2,285	137	1,567.9	1,850	1,989
経常利益	2,225	74	2,906.8	1,750	1,837
四半期純利益	1,528	△158	-	1,200	896
EPS（円）	60.24	△6.25	-	47.30	35.33
ROE（%）	4.0	△0.4	-	3.1	2.4
ROA（%）	3.7	0.6	-	1.8	3.9

注)ROAは事業利益(営業利益+営業外収益)にて算出してあります。

### 3. 第2四半期連結累計期間の連結業績推移

（金額単位：百万円）

	H23/2期 第2Q	H24/2期 第2Q	H25/2期 第2Q	H26/2期 第2Q	H27/2期 第2Q
売上高	65,653	68,103	70,008	69,162	74,711
営業利益	807	953	△250	137	2,285
経常利益	826	1,072	△320	74	2,225
税引前純利益	758	1,307	△377	△40	2,444
四半期純利益	505	739	△401	△158	1,528
純資産	37,001	37,502	35,504	36,178	38,256
総資産	62,685	63,646	61,206	62,479	67,697
一株当たり純資産:円	1,332.23	1,351.51	1,397.40	1,423.97	1,506.01
一株当たり四半期純利益:円	18.24	26.69	△15.52	△6.25	60.24

#### 4. 第2四半期連結累計期間セグメント別業績の二期比較

(金額単位：百万円)

	平成27年2月期 第2Q		平成26年2月期 第2Q	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益
報告セグメント				
加工品事業	30,810	1,020	29,207	268
食肉事業	42,959	1,346	38,902	△140
小計	73,770	2,367	68,109	127
その他	940	△82	1,053	10
合計	74,711	2,285	69,162	137

#### 5. 連結子会社一覧

(金額単位：百万円)

会社名	持分割合 (%)	売上高	総資産	事業内容
米久かがやき(株)	100.0	11,663	7,456	ハム・ソーセージ・デリカ製品の製造
(株)日宏食品	100.0	1,183	688	ソーセージの製造
米久デリカフーズ(株)	100.0	3,559	3,169	冷凍デリカ製品の製造・販売
<b>国内加工品生産会社計</b>		<b>16,406</b>	<b>11,314</b>	
YONEKYU U.S.A.,Inc.	100.0	1,361	987	ソーセージの製造
<b>海外加工品生産会社計</b>		<b>1,361</b>	<b>987</b>	
米久おいしい鶏(株)	100.0	6,122	4,772	鶏肉の生産・加工・販売
(株)マルフジ	100.0	1,243	363	牛肉の加工・販売
アイ・ポーク(株)	100.0	2,171	672	豚肉の加工・販売
大洋ポーク(株)	100.0	1,868	779	豚肉の生産・加工・販売
(農)広島県東部養豚組合	-	672	1,123	養豚
<b>食肉供給会社計</b>		<b>12,077</b>	<b>7,710</b>	
御殿場高原 ビール(株)	84.9	717	684	地ビールレストランの経営
<b>その他の会社計</b>		<b>717</b>	<b>684</b>	
<b>合計</b>		<b>30,563</b>	<b>20,696</b>	

持分法適用関連会社2社

・加工品・食肉事業

MIY(株)

・食肉事業

ときめきファーム(株)

## 6. 当第2四半期連結累計期間の業績

### (1) 売上高

加工品事業では、ハム等は、主力商品のベーコンに加え、焼豚やローストポークなどが好調に推移しました。ソーセージは、主力コンシューマ商品「御殿場高原あらびきポーク」が伸長、また、デリカはトンカツ・春巻・ロールキャベツ等の販売が増加いたしました。

食肉事業では、食肉相場が前年同期を上回る水準で推移し、生産事業の収益が高まりました。

また、「六穀豚」や「大地のハーブ鶏」などのブランドミートの拡販、一次加工品「マザーシェフ」の販売促進、採算性を重視した営業活動等に注力した結果、収益性も向上いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、加工品事業は308億10百万円、食肉事業は429億59百万円となり、全体では前年同期に比べ55億49百万円増加し、747億11百万円（8.0%増）となりました。

### (2) 売上総利益

原材料価格の大幅な上昇が続いているものの、生産性の改善により収益力が向上、食肉相場の高値推移も加わり、売上総利益は前年同期に比べ大幅に増加いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上総利益は、前年同期に比べ20億75百万円増加し、110億78百万円（23.0%増）となりました。

### (3) 販管費、営業利益

物流の効率化、リスク管理の徹底等の推進によって販管費が削減し、営業利益は、加工品事業では10億20百万円（前年同期は2億68百万円の利益）、食肉事業では13億46百万円（前年同期は1億40百万円の損失）となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の販管費は前年同期に比べ73百万円減少し、87億92百万円（0.8%減）となり、営業利益は21億48百万円増加し、22億85百万円（前年同期は1億37百万円）となりました。

### (4) 営業外収支、経常利益

営業外収益が前年同期に比べ77百万円減少した一方、持分法による投資損失は40百万円減少し営業外費用は79百万円の減少となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の経常利益は前年同期に比べ21億51百万円増加し、22億25百万円（前年同期は74百万円）となりました。

### (5) 特別損益、税金等調整前四半期純利益、四半期純利益

特別利益は、持分法会社への持分変動による特別利益により2億57百万円増加しました。

これらの結果、税金等調整前四半期純利益は24億44百万円（前年同期は40百万円の損失）となりました。なお、法人税等は8億2百万円増加しました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の四半期純利益は、15億28百万円（前年同期は1億58百万円の損失）となりました。

## 7. 下半期の業績に影響を与える主な項目

- 1) 原材料・副原料の仕入価格の高止まり、円安の更なる進行
- 2) ユーティリティ費用・物流費の増加
- 3) 食肉相場の高値継続
- 4) 新TVCMの投入による加工品の販促強化
- 5) ブランドミートの拡販による食肉事業の収益拡大
- 6) 生産性の改善・物流の効率化等の更なる推進による収益性の向上

## 8. 通期業績予想

(金額単位：百万円)

	今回予想	前期実績	伸び率(%)
	金額	金額	
売上高	150,000	144,154	4.1
営業利益	3,700	1,989	86.0
経常利益	4,200	1,837	128.6
当期純利益	2,700	896	201.3
E P S (円)	106.43	35.33	201.2

## 9. 設備投資及び減価償却費

(金額単位：百万円)

		金額	主な内容		
連結 (上半期)	設備投資額	1,005	富士工場 米久かがやき ふじやま工場	デリカ製品生産機器他 加工品生産機械他 食肉一次加工ライン	77 439 84
	減価償却費	980	-		